芳工連だより

'14／11
第125号

□ 発行 芳賀町工業団地連絡協議会　□ 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台 98　□TEL 028(677)5033
□ http://www.hokoren.com　□ E－Mail : information@hokoren.com　□編集責任者 七井 真人

■交通防犯部会活動

１）のぼり旗・横断幕撤去

秋の交通安全県民総ぐるみ運動期間中に啓発のため設置した、のぼり旗・横断幕の撤去作業を 10 月 1 日に実施しました。

交通安全運動展開中の交通事故発生（人身事故と物損事故）状況は、真岡警察署管内においては 92 件（前年同期 91 件）で、前年と比較して横ばいでした。芳賀町内の交通事故発生件数は 10 件（人身１件、物損９件）で、前年の１６件（人身３件、物損 13 件）と比較し減少しました。期間中の警察署管内及び町内の事故類型別は、追突、出合い頭の事故の割合が最も多く、これらが全体の４割を占めています。

交通事故が減少するよう、会員企業の皆さまの御協力を引き続きお願いいたします。ご多用なところ、撤去作業を行って頂いた 10 社 13 名の部会員の皆様、ありがとうございました。

２）安全運転講習会を開催

10 月３１日の午前中に安全運転講習会（90 分間コース２回）を開催したところ、19 社３９人が受講されました。講師はツインリンクもてぎ・アクティブセーフティトレーニングパークのインストラクターです。受講者はコンピュータグラフィックス映像による動画で、運転するときどこに危険が潜んでいるか、具体的な危険元を見抜くことができるトレーニングをしました。動画で危険の前兆を見抜き、どのような運転の心構えが必要かよく理解できるプログラムです。

危険を見抜いたうえで緩急をつけた運転が求められる、との説明でした。心と時間のゆとりが大切であることも強調されていました。皆さまも、危険を予測した注意深い運転を心がけてください。

■総務企画部会活動

１）初級管理者セミナー開催

10 月７日 工業団地管理センター大会議室にておいて、エファ社の菊地様を講師に迎え初級管理者セミナーを開催しました。参加者は１１社３３名の管理者でした。

組織と個人を機能させるマネジメントとリーダーシップ、仕組みと仕事の流れをチェックし問題解決を図るプロセスマネジメントを学びました。

職場ではコミュニケーション不足が見受けられる傾向にあり、部下から心を開くことは難しいので、上司から接するよう心がけることの大切さも学びました。

受講生から寄せられたアンケートには、「人によって考え方は多種多様であるが、それをまとめるには会社の理念や方針を基に、納得してもらえる方向を見出すことが大切であることを理解した。」、「会社の理念をベースに対話することで、自己犠牲に陥ることなく、部下に納得してもらえる指示が出せることを学んだ。」など、管理者として求められる重要な気づきを多くの受講者が記述しています。

２）若手研修会開催

10 月２２日 入社 3 年から 5 年の若手社員を対象としたブラッシュアップセミナーを工業団地管理センター大会議室において開催しました。

参加した８社１８名の研修生はエファ社の菊地講師から、徹底して会社の理念を理解することが必要であり、組織強化を図るため行動指針に沿って、一人一人の能力を高め、磨きをかけ進化させるスパイラルの概論を学びました。研修の具体的プログラムは、CS 概念、提供していくサービスの技術、ビジネストークのテクニック、折衝能力のアップなどです。参加者は、同年代の他社の社員と親しく語り合うこともでき、相談し合える仲間をつくるきっかけとなる集合研修でした。研修の成果を各社で発揮されることを期待したいと思います。

■真岡警察署へ陳情

１０月９日に芳工連小川審也会長、西東竜也交通防犯部会長及び事務局長七井が真岡警察署を訪問し、交通安全施設の整備充実等に関する陳情書を署長にお渡ししました。

陳情内容は次の３件です。

１　「主要地方道宇都宮・茂木線への信号機の新規設置について」は、株式会社ホンダテクノフォート様に隣接するバイパス交差点への信号機設置です。

バイパスの全線開通で交通量が増加して、当該交差点を利用して右折又は左折しようとする車両は常に危険な状況です。今年になって、中央分離帯に乗用車が乗り上げる事故や乗用車と自動二輪車の追突事故が起きています。

これまで、変則５差路であったことから、交差点の改良を芳賀町にお願いしていましたが、このほど改良が完了したことから、信号機設置の環境が整いましたので陳情したものです。

２　「芳賀台交差点への歩行者用信号機と右折矢印信号機の設置について」は、ホンダエンジニアリング株式会社様、山王テック株式会社様に隣接する主要地方道宇都宮・茂木線と都市計画道路大塚・下原線との交差点の安全を確保するための歩行者用信号機及び右折矢印信号の設置です。

ここは大きな交差点であり、歩行者・自転車の横断には危険が伴います。また、交差点を右折しテクノ街道（都市計画道路大塚・下原線）を北進する車両が多くなっていますが、朝夕の通勤時間帯には信号の変わり目に数台程度しか右折できず、無理に交差点へ進入する車両が多く見受けられ、危険な状況であることから陳情しました。

３　「かしの森公園前信号機の時間変更について」は、慢性的な渋滞個所である交差点の信号時間の調整をすることで、渋滞解消を図ろうとするものです。

現在、株式会社本田技術研究所様に隣接する、かしの森公園前交差点へ北進し右折しようする車両の渋滞は、宇都宮市ゆいの杜地内まで続く場合もあります。

そこで、かしの森公園前交差点の右折矢印青信号の表示時間は変えず、桜並木となっている東西の道路（都市計画道路上山下・岡田線）を下高根沢地内から西進し芳賀工業団地へ左折するための青信号表示時間を短縮することで、結果的に、かしの森公園前交差点の右折矢印青信号の表示頻度を増やし、右折車両の渋滞を解消しようとするものです。

■安全衛生部会活動

（１）栃木地方産業安全衛生大会に参加

１０月７日　栃木地方産業安全衛生大会が開催されました。午前中は真岡労働基準協会主催の優良企業見学会があり、栃木市内の日立アプライアンス株式会社の工場を視察研修しました。

９４．５ヘクタールの広大な敷地を有する工場は昭和２０年１月に軍需工場としてスタートしました。現在２，０００人の従業員が白物家電といわれ

る冷蔵庫、エアコン及びエコキュートを主力に生産しています。

特徴的なことは、①３２カ国の外国人６００人が働いていることから、特に安全管理に注意を払い、写真や絵による掲示で理解を深めている。②消費者ニーズにタイムリーかつ的確に応えられるよう、国内外を問わず市場の近くで製品を開発・生産する「地産地消」を成長戦略の基本に置いている。③製品改良のスピード化、技術継承、製造コスト引き下げを目的に２～３年前からエアコン部品製造は外注から自社製造に切り替えた。④安全衛生活動を熱心に推進しているばかりでなく、環境負荷の低減に積極的に取り組んでいることです。

参加した真岡労働基準協会会員企業の３４名は、生産工場内で働く人の安全管理の実態と製造過程の改善や工夫の様子を確認できました。視察をとおして良いところを現場で学びましたので、それぞれの職場に持ち帰り、安全衛生活動に役立たせることができるものと思います。

午後は、栃木労働局及び各労働基準監督署が主唱、県内各労働災害防止団体が主催する栃木地方安全衛生大会が宇都宮市文化会館で開催されました。第１部の表彰式で、株式会社本田技術研究所四輪R&D センター管理室の西東竜也様（芳工連交通防犯部会長）に栃木県労働基準協会連合会長から安全功労賞が授与されました。

第２部で、株式会社大林組建築本部プロポーザル部 高木浩志課長による「東京スカイツリーの建設　～世界一の高さへの挑戦～」と題する特別講演がありました。完成までに幾多の困難はあったが、独自に開発した新技術と安全管理によって、世界一のツリーを完成させることが出来た、との説明でした。

五重塔の芯柱を参考とした芯柱工法や安全性を重視した工法に関する詳細な説明もありました。高度な技術の開発と徹底した安全管理を講演の主題に、世界一の電波塔を完成したプロセスを感動的に聴くことができました。

（2）第２回安全衛生部会開催

10 月 29 日 第２回安全衛生部会を開催し、①11 月 27 日（木）開催される真岡地区産業安全衛生大会　②12 月 11 日（木）開催する安全活動事例発表会　③優良企業視察研修会　④第３回部会開催について協議しました。改めて会員企業様に事業のご案内をしますので、御参加くださるようお願いいたします。

■環境整備部会活動

クリーン作戦実施

10 月２３日 夜半まで雨が降って実施が心配されましたが、予定どおり第３回クリーン作戦を午前９時 30 分から 10 時まで実施しました。

参加された 57 社 196 名の皆様が、工業団地を５ブロックに分けて、道路や歩道に散乱していたゴミを拾い集めました。
普段の清掃活動の成果もあるのでしょうか、収集したゴミは通常よりも少量でした。参加された皆さま大変有難うございました。

■真岡労働基準協会臨時総会開催

10 月３０日 真岡市公民館において真岡労働基準協会の臨時総会が開催されました。主な議決事項は、会長を務めていた黒澤良二理事が社内異動により転出したことから、後任の理事は黒澤様が所属していた日産自動車株式会社栃木工場長に新しく就任した橋本修氏を選任したことです。
真岡労働基準監督署長は、「9 月末現在の労働災害発生状況は、前年同期比４％の増となっている。そのうち死亡が２人で１人増えている。さらに 10 月に入って製造業の事業場で１人死亡して昨年の１人から死亡者数が３人となっている。年末を控えそれぞれの事業場で安全衛生の見直しをしていただきたい。」と挨拶されました。

■これからの事業等の御案内

（1）栃木県産業労働観光部長と芳工連との意見交換会

11 月 12 日(水) 午後３時から工業団地管理センターにおいて、県産業労働観光部長と芳工連との意見交換会を開催します。
工業団地を取り巻く実情を栃木県にご理解いただき、産業振興施策の充実を要望するなど、芳賀工業団地の安全・安心を向上するため、栃木県工業団地連絡協議会との連携により毎年開催しています。
芳工連から栃木県に対して、道路行政に関する２件の要望・質問を提出しました。当日は会員企業様から要望・質問することもできますので、参加を希望される会員企業様は１１月７日（金）までに事務局へご連絡ください。

（2）芳賀町商工会と芳工連との交流会

11 月２０日(木) 午後３時 30 分から芳賀町商工会との交流会を工業団地管理センターにおいて開催します。
芳賀町商工会員と研修・懇談をとおして交流を深める事業を毎年実施してきました。
今年度は、獨協医科大学病院 和氣晃司准教授から「栃木県ドクターヘリ 2014 ～運航事業と現状～ 」と題して講演をいただきます。第２部では懇親会を実施します。
参加を希望される企業様は 11 月 10 日（月）までに事務局へご連絡ください。

（3）安全活動事例発表会

12月１１日(木) 午前１０時 30 分から正午まで、安全衛生部会が主催する安全活動事例発表会を工業団地管理センターにおいて開催します。日泉化学株式会社テクノセンター栃木様による活動事例発表と真岡労働基準監督署長の安全衛生講話があります。改めて会員企業様には御案内を差し上げますので、是非ご参加ください。

（4）芳賀町民祭

１１月９日(日) 午前９時から、第 33 回芳賀町民祭が芳賀町役場東駐車場・道の駅はが・ほか会場で開催されます。芳賀町の良さを再認識できる楽しいイベントが満載です。

芳工連会員では、協永堂印刷株式会社様、東上ガス株式会社様、株式会社本田技術研究所関係グループ企業様、株式会社リブドゥコーポレーション様が出展します。また、株式会社オートテクニックジャパン様がバイクトライアルのデモンストレーションを行います。

皆さまも、ご家族連れでおでかけください。

【１０月の実績 】

１日　交通安全のぼり旗撤去
７日　初級管理者セミナー
７日　栃木地方産業安全衛生大会
９日　真岡警察署長への陳情書提出
１６日　芳賀町商工会工業部会幹事会
２２日　若手研修会
２２日　資源ごみ回収日
２３日　クリーン作戦
２９日　安全衛生部会
３１日　安全運転講習会

【１１月の予定 】

９日　芳賀町民祭
１２日　県産業労働観光部長との意見交換会
２０日　芳賀郡市公衆衛生大会
２０日　芳賀町商工会との交流会
２２日　第４９回ゴルフ大会
２７日　真岡地区産業安全衛生大会
２７日・２８日　団管連主催視察研修会